京城日報
朝刊
朝夕刊共六頁

社説　日本語と外國語

大東亞共榮圏の理想が、次第に現實として吾人の眼前に展開されつゝある時、外國語排撃論が一部に擡頭して來たのは事實である。少くとも中等教育から英語の時間を整理せよとの聲は夙に從來行はれてゐた議論であるが、英語教育を全廢せよといふところまで來ては、いさゝか極論に過ぎるといはねばならぬ。

然し、かゝる議論の出るに至つた經路を考へるのに、たしかに今日までの中等學校における英語教授の時間は多過ぎたし、それがために無意識のうちに米英依存的な風潮を馴致して來たことは爭ひ難い。そこで、さうした偏倚なる傾向を是正し、

……

卽ち、日本人に外國語は無用であるとの議論は、一種の鎖國的偏狹論であり明治天皇が五箇條の御誓文に宣はせ給へる「知識ヲ世界ニ求メ大ニ皇基ヲ振起スヘシ」の大御心を體し、また今上陛下が青少年學徒に賜はりたる勅語の「古今ノ史實ニ稽ヘ中外ノ事勢ニ鑑ミ」の聖旨に副ひ奉る上からも、一應外國語の存在を認め且つ利用するとはまた大國民たるの教養であり態度

皇軍バーモ占領

（北部ビルマ戰線）（陸軍省檢閲濟）電送

來援の重慶軍最精鋭　顧祝同軍殲滅に瀕す

浙江作戰　敵第三戰區を蹂躙

上海特電【廿三日發】去る十五日突如浙東の山野に行動を起した我軍は行動開始より七日にして浙江の要衝義烏を初め紅、東陽、永康を次々と占領、暫編第九軍、第八十八軍の主力を撃碎、更に第七十、第二次長沙作戰に死守に來援せる重慶軍事委員會直轄部隊の第九戰區二十六、七十四等の重慶軍精鋭を撃碎すつた顧祝同麾下第三戰區軍は正に殲滅に瀕しつゝある、敵にいはせれば第三戰區軍は重慶軍最後の頼みの軍力にかては最右翼であると蔣介石から賞讃されてゐただけに重慶軍首腦の失望落膽と狼狽ぶりは想像に餘りあるのである、なほ今次されるのは敵軍の戰力低下と戰意の喪失で重慶軍力は最早事變當初の三分の一に低下してゐる、ビルマルートの潰滅による軍需物資の輸入杜絶と相俟つて今や重慶は武器なき烏合の衆に顛落せんとしつゝ

【浙東○○前線廿三日同盟】浙東の山野を踏査して一氣に東陽河谷を制壓したわが軍は同地一帶の掃蕩を完了同方面の敵根據地を猛追○○方面に戰果を擴大中である、今次作戰の開始に當りわが軍は敵の意表に出で各部隊の進撃は敵の豫想を絶し襲をもつてし、敵は完全に虚をつかれ陣容を略へる餘裕もなく二百、三百の小集團となつて潰走、われに反撃を加へるものなく現在である

重慶脱落必至

米英陣營、前途を悲觀

【ベルリン二十二日同盟】日本のビルマ作戰完了により重慶政權は全く孤立に陥り、それを對日牽制にして重慶を今後も自己の陣營に引つけて行くかが英米ことにアメリカの重大關心事であるが連絡路を斷たれた今日それは極度に困難

トラックでビルマ路を輸送したるものより多くのものを運ぶことが出來るとうそぶき、得意の紙上計畫を述べてゐる、なほ二十日

通は若しも五六月に支那戰線の日本軍の進撃を阻止することが出來なければ重慶は英米聯合國陣營から脱落するものと見なければならないと悲鳴を上げてゐる

東條首相奏上

ベンガル灣で決戰

制海權失墜に恐怖　米國提督の主唱

佛潜水艦撃沈さる

故兩大佐、少將進級

陸軍省發表

滇緬公路千三百キロを征く

重慶抗戰の夢哀れ

援蔣物資、遺棄屍の山

【雲南前線○○廿二日同盟】去る三日緬支國境を突破したわが精鋭は滇緬公路の各重要據點をつぎつぎに攻略五日には早くも國境より二百五十キロの怒江の線に進出、尨大な敵量に上る援蔣物資を悉くわが手に收める大戰果を擧げた、この快速進擊の跡を見るべく記者は去る十二日メイミヤウ（マンダレー東方六十五キロ）を出發、全行程千三百キロに及ぶ雲南前線への旅に向つた

十二日　メイミヤウから東へ、松柏類の密林を拔けて曲折する道路こそはマンダレー、ラシオを結ぶ百七十六哩のいはゆる滇緬公路の入口とも稱すべきものであらう、道路の半ばは堂々たるアスファルトであり、半ばは砂利道で二千メートル台の山々を縫つて東へ東へと走つてゐる、さすがに吹く風も涼しく内地の五月を想はせる、沿道の風景も内地と同じ松林が點綴して涼しい郷愁が感ぜられる、ラシオへあと四十五哩のシポウでは百オートル餘の橋梁が破壊されて

ラシオを今眼の前に見ればたゞつまらない田舎の町に過ぎないが、故のため途にわれわれのラシオ入りは夜となり午前二時やつとラシオに入ることが出來た、敵の放火であらうか市街の一角はまだ夜空を焦して燃えてゐた

☆寂しい街ラシオ☆

十三日、昨日一日自動車を運轉し續けた記者はがつかりするほど疲れてしまつた、それに自動車の故障箇所の整備もしなければならないので一日休養することにした、

私を驚かしたことは自動車の修繕屋の多いことであつた、本街道に沿ふ家は全部修繕屋かと思はせるほど修繕屋や部分品店が續いてゐる、何萬台ものトラックが此處を經て雲南へと走つたことであらう、正確無比の爆撃に吹つ飛んだ郊外の停車場などには數へ切れぬガソリン、銅、タングステンなどの山が空しく野晒しのまゝ殘され

☆蔣介石給與☆

☆騙された兵隊☆

☆驚歎の努力☆

☆莫大な遺棄品☆

☆一千三百キロ☆

衆院議事日程

二十七日に各相演説

衆院役員事務決定

議事運營に議員協議會

衆院と緊密連絡

貴院の議會運營方針

憲兵令を改正

臺灣に憲兵司令部設置

海軍司政官

更に八氏任命

墨國對樞軸宣戰案可決

健全苗代育成へ！　現地報告【1】

苗代を稻作の半作とさへ稱し、最も重要視されてゐることは勿論であり、各道共今や苗代の設置督勵に大童であり、總督府からもそれぞれ係員を派して督勵に努めてゐるが朝鮮農會では今回國水選勵に消毒實施狀況、集合苗代設置狀況、苗代面積の擴張及び薄播の實施狀況、苗代小畦畔の設置狀況、移植勞力節約策としての二段播苗代の設置狀況、苗代防風牆設置狀況（西北鮮のみ）手畦及び畦畔實施狀況、苗代の肥培管理及び生育狀況等苗代の設置進捗狀況につき全鮮支部を總動員して調査を行つた、以下その現地報告である

小畦畔設置に凱歌　集合苗代先づ完了　平南道

【平壤】一路戰時食糧增産に邁進する平南道では農村一體となり計畫目標の遺憾なきを期してゐるが、苗代時期に入るや道では增米增産部長を始め關係者の各郡督勵を實施し米穀平南の逞しい步行を續けて來たが、水稻作付前の實施狀況は次の通りである

◇鹽水選並消毒實施狀況＝總水稻作付豫定面積七七五、六二五町步に對し鹽水選實施は三八、六五六〇町步の約五割、種籾消毒はホルマリン二五二、〇〇〇町步、メルクロン二七五、九九九町步計五二七、九九九町步の八割五分を實施したが、これに對する藥品は夫々四月十日迄に各郡部落の共同作業場に配給を完了せしめ、邑面面に水利組合に設備せる鹽水選並種籾の消毒實施豫定に部落別實施日割を定め、共同作業に依り實施したが其の成績は極めて良好で、これが成績は目下取纏中である

◇集合苗代設置狀況＝苗代總面積四四、四四二五町步に對し二九、〇二二町步の六割六分を計畫し苗代改善總動員により、既に計畫面積全部を完了、其の實施成績は目下取纏中である

◇苗代面積の擴張及薄播の實施狀況＝苗代設置面積は本畓一反步當り廿坪、播床面積は十六坪とし標準播種量は本畓反當り四升、苗代坪當五合五勺の薄播を實施せるが、特に之が徹底を期する爲三月末日迄に面積の測定ず抗打を實施したが、なほ邑面村の播種に當つては播床四坪每に必ず小抗を立て均播の勵行に努めしめた

◇苗代小畦畔の設置狀況＝小畦畔設置の計畫は集合苗代全部の面積二九、〇二二町步を豫定し、苗代總面積の六割六分であるが、各郡とも其の成績は極めて良好である、而これが實績は目下取纏中である

◇移植勞力節約策としての二段播苗代の設置狀況＝これが計畫面積は總苗代面積に對し三割九分であるが五月廿日迄には播種を完了せしむべく目下極力督勵中である

◇苗代防風牆設置狀況＝本年度防風牆設置計畫面積は五五町步を實施せるが、各郡における之が實行面積は取纏中である

◇手畦及び畦畔塗實施狀況＝水稻作付面積七七五六三町步に對し手畦三割、畦畔塗四割（但し水利組合區域五割）であるが、本年は特に之が徹底を期すべく道幹部並に關係職員の一齊出動を行ふと共にこれが督勵の一助方策として朝鮮水利組合聯合會平南支部主催の下に九月上旬各郡水利組合單位に之が品評會を開催することゝなつてゐる

◇苗代の肥培管理及び生育狀況＝苗代播種進捗狀況は第一段二八、一二三四町步、第二段一三、三一〇町步、第三段一九五二町步、計五三、四九六町步であるが、氣象不順な爲例年に比し稍々遲延の傾向にあり、而も播種後に於ける發芽生育良好ならざるものあるに鑑み、特に灌排水の調節追肥の適正を期せしむると共に、稗馬鹿苗、雜草並に步道の苗除去病害虫の防除等これ等管理指導の徹底を期し、發芽並に生育促進に萬全を期せしめつゝあり、なほ目下播種中のものに對しては特に芽出の適正を期せしむべく指導督勵中である

前年比二割餘の進捗振り　鹽水選は既に完了　慶北道

【大邱】慶尙北道内における十日現在の苗代進捗狀況は非常に順調に進められ豫定計畫通りに實施されてゐるが、それによれば同期において前年に比して二割三分五厘多く、鹽水選は完了、消毒は藥品未着によつて一切實施不能のため遲延してゐるものがあるが、これも近く完了の見込みで、苗代小畦畔の設置も完了手畦及び畦畔塗は目下計畫通り實施中、その他共に計畫通り順調に進んでゐる、なほ道内十日現在各地の狀況は左表の通りである

五月十日現在苗代進捗狀況

苗代設置目標　大邱　九四、三%　五、七%

（濟州播用　遲播用　早植適期用進捗狀況）

郡				
達城	七〇、一	二九、九		三五、〇
軍威	五八、七	四一、三		三五、〇
義城	一四、二	八五、八		一九、〇
安東	三八、一	六一、九		五四、〇
青松	四六、二	五三、八		七七、〇
英陽	八四、五	一五、五		八四、〇
盈德	七八、九	二一、一		九二、〇
迎日	八一、一	一八、九		七三、〇
慶州	四八、五	五一、五		八四、〇
永川	六八、〇	三二、〇		七四、〇
慶山	八二、一	一七、九		五三、〇
清道	七〇、九	二九、一		三〇、〇
高靈	三八、九	六一、一		三六、〇
星州	八九、二	一〇、八		三七、〇
漆谷	六二、三	三七、七		四六、〇
金泉	二九、一	七〇、一		二二、〇
善山	一九、九	八〇、一		四七、〇
尙州	四一、〇	五九、〇		五六、〇
聞慶	五六、〇	四四、〇		二八、〇
醴泉	五六、一	四三、九		九〇、〇
榮州	七一、二	二八、八		九九、〇
奉化	六三、一	三六、九		一〇〇、〇
計	五四、六	四五、四		五六、〇

（六月中に插秧せらるゝものを適期播　七月に入り插秧せらるゝものを遲播）

神策鬼謀、獨ソ兩智將　再びフォン・ボック元帥に軍配か

ハリコフの戰爭を練る獨ソ兩軍の外帥は

【ベルリン特電】【廿二日發】依然未曾有の規模を以て繼續されてゐるが、この戰鬪に於るドイツ軍の指揮官はフォン・ボック元帥、ソ聯側はチモシエンコ元帥でこの獨ソ切つての兩智將が昨夏の中部戰線に於る大死鬪以來再び顏合をやり何れも虛々實々の祕策を示して渡りあつてゐる點に盡きぬ興味と言ふよりは寧ろ獨ソ戰今後の全運命を賭けたと言ふ意味で重大性がある、【ハリコフ戰はケルチ攻略後ドネツ盆地の奪取に移らんとしたドイツ軍作戰の先手を打つためソ聯側から火蓋を切られたものであらう、當初ドイツ軍は受身の形にあつたのであつたが、その後フォン・ボック元帥の神策鬼謀は忽ち形勢を建直した上、次第にドイツ軍を優勢に導きこの一兩日來ハリコフ東南方に進出してソ聯軍を包圍の態勢に移りつゝあり、ソ聯軍側は目下全般に亘り防禦戰を餘儀なくされ著るしく苦境に陷つてゐる、兩軍の動員兵力、武器彈藥は破天荒の數量に上り勝敗は益々今後の全作戰に影響するところが大きい、ソ聯側がどれだけの豫備兵力を同戰線後方に集結してゐるかは判斷し得ぬが、現在ドイツ軍が戰局に擧げてゐる大戰果から推してこの戰鬪の結果も推測に難くない、チモシエンコがミンスク、スモレンスクの大殲滅戰の二の舞で再びフォン・ボック元帥に名をなさしめることは必至であり事實上は既にフォン・ボック元帥に軍配が揚つたと言ふも過言ではなからう【寫眞＝上からフォン・ボック元帥、チモシエンコ元帥】

俘虜十七萬弱　ケルチ戰、獨軍の戰果

【ベルリン廿二日同盟】獨軍司令部廿二日發表

一、東部戰線　獨軍はケルチ半島の殲滅戰においてさらに俘虜一萬九千九百四十二を得たほか戰車卅六台、砲一百六十四門および鐵道列車一を鹵獲した、かくしてケルチ半島方面における獨軍の戰果は廿日の戰況公報に發表せるものを加へて俘虜十六萬九千百九十八、鹵獲戰車二百八十四台、砲一千二百九十七門となつた

一、獨空軍はセバストポリ港内において貨物船一隻を攻擊して火災を生ぜしめた

一、ソ聯軍は〔ハリコフ地區において〕反擊し來つたが、獨軍は多大の損害を與へてこれを擊退した

一、獨空軍はコラ半島ラプランド地區の某港において敵大型貨物船三隻に對し爆擊を加へこれを損傷せしめた

一、獨戰鬪機は東部戰線において、ソ聯戰鬪機ならびに輸送機機を擊墜した

△北阿ならびに地中海戰線　一、獨空軍は連日マルタ島のハルファーならびにルッカ飛行場に對し猛爆を加へさらに北阿の英空軍基地を爆擊した

△大西洋戰線　大西洋に活躍中の獨潛水艦はカリブ海ならびにメキシコ灣において敵貨物船廿隻計十一萬一千六百トンを擊沈し、また他の潛水艦は敵の嚴重なる防備にも拘らずセント・ローレンス河に潛入し敵船舶三隻計十一萬四千トンを擊沈した

全國金融統制會　きのふ創立總會開く

【東京電話】金融統制團體令に基づく金融諸團體の指導統制に當るべき全國金融統制會は廿三日午前東京銀行集會所に創立總會を開き定款その他の事項を決定し大藏省は即日これを認可、こゝに同統制會の成立を見るに至り、創立總會は解散することになつた、なほ同統制會の創立總會に先立ち全國金融協議會役員會が開催され同會は解散することになつたが、全國金融統制會の事務所は日本銀行内に置かれる

役員任命

【東京電話】大藏省では廿三日成立を見た全國金融統制會の役員につき同日副會長以下つぎの如く任命した、なほ同統制會の會長には勅令の規程に基づき結城日銀總裁が就任した

副會長　澁澤敬三（日銀副總裁）

理事　相田岩夫（興業銀行統制會理事長）岸喜二雄（元神戶稅關長）田島道治（前日本產金振興社長）、岡田才一（日銀理事）一萬田尚登（日銀考査局長）

監事　加藤武男（三菱銀行會長）大久保利賢（正金頭取）

緬支國境敵陣に迫る我が部隊（陸軍報道部檢閲濟）＝電送＝

鑛業部の新設　今月中には發表

東拓の鑛業部新設その他の要務打合せのため東上中の朝鮮支社事業部長原俊一氏は廿二日歸城したが次の如く語つた

鑛業部の新設も拓務省の認可があつた部長以下の人事も大體内定したので恐らく今月中には發表されるはずである、要するに今回の鑛業部の新設は從來東拓が直接または間接に關係して來た鑛業部門を一元化して强力な綜合的企畫のもとにさらに進んで新たな地下資源の開發へまで進まうとする態勢を整へたわけで東拓の鑛業技術陣を朝鮮へ動員して積極的にやる方針だ、鑛業部の新しき部面としては稀種の特殊鑛物と鐵鑛山の開發を目標としてゐるが今後探鑛結果その山の規模が大きければ新會社を作るといふやうなことにならう

ピブン首相の明斷　危機一髮で成立す　日泰同盟條約成立　坪上駐泰大使放送

【東京電話】去る四月六日事務打合せのため歸朝した坪上駐泰大使は廿三日夜ＡＫのマイクを通じ「日泰同盟條約とその後の泰國事情」と題し要旨左の如き放送を行つた

恰度日本の臨時議會の開かれた昨年十一月半ばころである、米國は理不盡にも日本の公正なる立場を理解せんとせず日米交涉はまさに決裂に近づきつつあるといふ狀態であつたが、私はピブン總理に會見しアジヤの運命を決する時期は漸々迫りつゝある、地理的に必ず國際的風の影響を受けざるを得ない立場にある泰國としては、歐洲の中立國の運命を繰返さないやうに今日において覺悟を決められることが最も必要であるといふことを力說した、時にピブン總理は最後の場合は必ず日本と手を握る、アジヤの運命を開拓するには日本と手を握らなければ出來ないといふのは自分の信念である、同色のアジヤ人種間で兄弟牆に鬩ぐといふとは斷じて許されない、蔣介石の態度は間違つてゐるといふことを言明したのである、國際情勢は漸々に急迫の度を加へつゝ如何なる事態が起るかもしれないといふ情勢であつたのであるが、十二月七日をもつて交涉開始の日とするとの電報を受け取つたのは七日の午前十時半であつて直ちにピブン總理の所在を確めたのであるが、不幸にして總理はバンコックに不在中であつたのである、ピブン總理は七日の前日すなはち六日の早朝から佛印國境を轉々として現地視察中であつた、その所在を確め得たのは夕方五時であつたのである、かれこれしてゐるうちに七日午後十時をもつて交涉開始の時刻と定める、しかして皇軍の進駐は二時間後の八日午前零時をもつて開始するといふ指示を受取つたのである、そこでピブン總理の歸來を待つわけにまいらんので、臨機の措置として外務大臣と會見し交涉に入つたが、外務大臣は直ちに臨時閣議を開き審議に、審議を重ねた、ピブン總理が歸るまでは何らの措置は執り得なかつた、これはピブン總理が軍部の全權を掌握してをつたので已むを得なかつたのである、八日總理は飛行機で歸る豫定になつてをつたが、夜間のこととて自動車で歸ることとなつたので八日朝七時頃でなければバンコックに着かれないといふのである、私は八日午前四時半まで總理官邸に頑張つてゐたのであるが一日引取り午前七時に會見したのであるが、同朝皇軍がすでに進駐を開始して急展開に際會してをつたのである、ピブン總理は直ちに閣議に諮つたのであるが、當時の情勢としては平和進駐に同意するよりほかながつたのである、しかしこれを早く同盟に引換へす必要があつたので、それぞれ手段を講じてをつたのである、十日の夕方七時に會ひたいといふので、會見すると總理は泰國として對英戰爭を決行する以外に道がないと思ふがどうであらうかといふのである、しかし日本との關係を如何するかといふことを具體的に實證しなければならないと申したところ、然らば日本としては何を泰國に要望せられるのかといふのである、直ちに攻守同盟に入ることだといふところが總理はこれに贊諾し、署名はその翌朝を期して行つたが、署名に先立ちピブン總理は九時よりラジオを通して日泰兩國間の攻守同盟に關する基礎的諒解が成立したといふことを全國民に對して放送したのである

諒解は成立したが、これを正式の條約に引換す必要があつたので、兩國政府間に協議を進めた結果、十二月廿一日をもつて泰國として最も神聖な儀式などの行はれる王宮のエメラルド佛壇の安置してある殿堂においてもつとも嚴肅なる儀式をもつてピブン總理大臣との間に正式に同盟條約に署名調印を了したのである

船體保險倍增で保險料負擔は荷主か

既に實施中の船舶保險の戰時割增によつて保險料金は倍增となつたが、內地側は船舶運營會がこれを支辨する建前であるに對し、朝鮮籍船についてはこれが機關なく荷主に轉嫁するか、船主の自己負擔にするより方法なく海運側は差し當つてこれを荷主負擔とせしめることとしてゐるので保險料の高率な機帆船の利用が困難なる情勢下ではこれがコストに影響する度が高いので移輸入石炭等では改訂の要求をするまでに至り遞信當局としてこの保件の差異について何らかの手を打つことを要することとなつた

借方貸方

企業整備令の實施を前に控へて、最近中小商工業者間に動搖を來してゐる傾向があるといふ▲企業整備令が總動員法に基く勅令行法令であることは勿論で▲政府が必要と認めた場合は同令の發動によつて業者の自由意思は完全に制約されることも當然だ▲しかし例へば企業合同を一定の定規の下に遮二無二强行せんとする趣旨ではない▲企業整備令は要するに最後まで拔くことをしない傳家の寶刀である▲業者は徒らに目に見えざる影に怯えて右往左往することはないのだ▲時に朝鮮は中小商工業者團體の目標をあくまでこれが維持育成に置いてゐる▲しかしこれも何でも彼でもこれを維持育成しようといふのではない▲まづ業者は自分自身がどういふ環境にあつて、如何なる地位にあるかを知る必要がある▲企業合同する方がよいと考へたら、自ら進んで統合するがよいのだ▲離しい業は可愛のだし、自らを見る怨れるのは當然だが▲今はそれが年制限に認められないことになつてゐる▲詳しくは考ふである

體育

實業野球リーグ　京電先勝　5A—4　對遞信一回戰

京城實業野球リーグ京電對遞信の一回戰は廿三日午後一時十分から球審中井、壘審佐田、伊越、羽井四氏審判の下に擧行、五對四で京電先勝

遞信	0	0	0	4	0	0	0	0	0	4
京電	0	1	0	0	2	0	1	1	A	5A

◇鐵打戰に終始したこの試合は、遞信が九回の功を一擧にかいだ稍緊張まる熱戰であつた、四球敵失で得た四點に氣をよくした遞信はその後五回六回と先發打者を塁に出しながら正攻法を取らず徒らに打氣にて徒死し機會をあたら逸し遂に試合をも逸した

計　28141（京電）　計　2284（遞信）

鐵道完敗　5A—0　對府廳一回戰

鐵道對府廳の一回戰は三時五十五分から球審土井、壘審中川、高田、黑田四氏審判の下に京城球場で擧行、五對〇で府廳先勝

鐵道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府廳	2	0	0	0	0	0	0	2	1A	5A

◇八島の快投に鐵道は徹頭徹尾ひわられ四安打無得點で第一戰を失つた、これに反し府廳は山中の四球押出しで先取得點二點を擧げ更に七回、八回得點を重ねて押切つたが、鐵道の六失策は大きかつた

計　4226（鐵道）　計　43117（府廳）

六大學野球リーグ　早大大勝　8A—2　對立教一回戰

【東京電話】東京大學春季野球リーグ早大對立大、法大對東大各一回戰は廿三日神宮球場で擧行、早大對立大一回戰は立大先攻にて午後一時七分開始、結局八Ａ對二で早大大勝

立大	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
早大	0	6	0	0	0	2	0	0	A	8A

◇投捕手（立大）好村、脇本（早大）由利、岡本、近藤　終了三時三分

法政勝つ（對東大一回戰）

法大對東大野球第一回戰は廿三日午後三時五十分東大先攻で開始、結局一對〇で法政勝つ、終戰午後五時四十六分

東大	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法政	0	0	0	0	0	1	0	0	A	1A

◇投捕手（東大）岡本、水松（法大）柚木、須田

府廳振はず　實業庭球第九日

實業庭球戰の第九日の廿三日、遞信對府廳は府廳一組も粟敵を出して振はず、たゞ和田、山本組が孤軍奮闘したが及ばず、結局五—三で遞信に敗れた

遞信　5—3　府廳

實業卓球リーグ

第四日（廿一日）▲鐵道14—4府廳▲殖銀14—4信託▲朝運10—8西銀（以上一部）▲專賣10—7貯銀（以上二部）▲遞銀15—0金組（三部）

第五日（廿二日）▲遞信13—4鐵道▲鮮銀10—7李王職▲殖銀10—7貯銀▲京電12—8府廳▲法院13—4信託▲京電13—9鐘紡（以上二部）

けふの鍛錬

◇野球【實業リーグ】鐵道—府廳（一時）遞信—京電（三時半）各二回戰、京城運動場

◇强步【中央キリスト教青年會主催、徵兵制記念大會】（七時）鐘路青年會發祥出發、京春街道

◇庭球【新人軟式大會】九時、京城運動場

◇卓球【國民大會】九時、武德町城南道場

研究廿年、世紀の發明

數十年かゝる計算も朝飯まへ

一雇員が電氣抵抗計算法完成

【新京特電】關東軍司令部附一雇員が公務の餘暇に研究せる電列、複雜せる交流、電氣の合成抵抗等に計算機械及び對數表等を用ひずに可能なる新計算法を陸軍省技術研究會に發表、斯界の權威者より世界的發明にして科學技術の精華を發揮せるものと賞讃を博し關東軍經理部長より表彰狀を授けられ東條首相はこの無名の一雇員の發明に感謝し寸志を研究費にと五百圓を贈與したことが廿三日軍當局から發表された、話題の主は關東軍司令部附雇員奈良縣郡山生れ稻村賢造氏(四二)で同氏は軍雇員として公務の餘暇研究の結果世界に未だ發明をみざる電氣抵抗圖式計算法と簡單明瞭なる對數表新解法の二研究發明で電氣抵抗圖式計算法は今まで交流の早い並列に頭いだ場合むつかしかつたのがこの方法によると易く出來る、對數表の新解法は今迄の計算器によると七桁以上のものはむつかしく數十年を要する高等數學的加減剩除が簡單に出來るといふ世界の科學界に最も難解とされてゐた扉を開き科學日本のため萬丈の氣焔を吐いたことは賞讃に値するものであり軍當局を感激させてゐる、稻村

雇員は研究につき語る

自分は小學時代から研究が好きで中學四年の時任官前の三等分は出來ないといふ先生の説明に疑問を抱き中學校を退學十一年間それぱかり研究したことがあり正式に高等教育を受けず書は先生、夜は生徒となつて若學力行今もなほ研究を續けてゐる、今回の發明も公務の餘暇に考へたことであり何も大した發明とは思つてゐない、これからも色々發明がどしどし出來ると思つてゐる

と如何にも科學者らしく卅數年間一度も新聞を見たことがないといふ變り種である

貯債消化運動

青少年團で實施

【東京電話】大日本青少年團ではこの一戰を勝ち拔くため昨年末戰時貯蓄の實踐國債ならびに戰時債券の消化を銃後青少年の愛國運動として展開して來たが、十七年度は政府の國民貯蓄增加目標額二百三十億圓達成に呼應して二億三千六百二十五萬圓の目標額を決定、青少年團貯蓄ならびに戰時債券消化運動を全國千五百萬團員に普及徹底させることになつた、その第一段として來る六月十九日より一週間行はれる政府の二百三十億貯蓄强調週間を利用してこの消化愛國運動を全國的に展開するが、その間從來設置中の青少年團の貯蓄組合を早急にこれを結成させて團員は一人も洩れなく組合員たらしめる手當を進め、またポスター、小冊子の作製や團員の手に成る貯蓄を强調する標語の清書を戶口に貼付するなど各郡土を擧げて貯蓄心の昂揚に努めることになつてゐるが、さらに週間四日目に當る六月廿二日は各單位團が一齊に青少年常會を開き擧國一致して戰時貯蓄に國債消化に一段の努力を申合せ一層の活動を期することに決定した、なほ貯蓄の財源はいづれも純眞愛國に燃える若き青少年の勤勞の汗よりなる報酬を充てるもので十七年度における各團員および單位團體の目標額は平均年六圓乃至廿四圓である

敵前に飛鳥の突入

赤信號・一番艇成功せり

壯烈、浦陽江敵前渡河

浙東特電【廿二日發】浙東の緣野に突然戰雲が捲り起つた、新戰場浙東は中國名なクリーク地帶、縱橫に走る水路は南船北馬の表現の巧妙さを目の邊り立證する、作要なこのクリーク地帶は今雨季に入つて連日のやうにじめじめと降續く霖雨にさらで狹の路は狹小溝まで沒ずるやうな惡路と化してゐる、この地勢、この氣候を侍んで『よもや』つた敵陣へさつと試攀した、星軍精銳の速さよ、作戰の鋭さよ、浙東作戰部隊は堰を切つの如く瞬く間に敵陣を覆滅しつゝある、以下は壯烈な浦陽江敵前渡河從軍記である

十五日は薄闇思ひ出したやうに對岸から射つて來た敵彈も夕刻になつて絕えた、あとには五月の晴れやかな夕風が青葉の匂ひをはこび隊に强烈な陽さしは射るやうだ、江南の夕陽は地平線に落ちようとしてゐる、爆の中に身を潛める記者にはこれが戰場の風景とは信じられなかつた、正に嵐の前の靜けさといふのであらう、夕陽の消えかかつた堤防の蔭から突如兵隊の軍靴のざわめきに搖き亂され

白襷の決死隊

兩側に馳け集つた、〇〇隊勇士達だ、そへの日にもとまらぬであつた、しかもくゆずらりと艇舟が

にも白い飛沫をあげて舟は進む、大膽な直線コースだ、待む船艇この日晝間山頂から眼瞰の爪の

“倶に進まん”

倉茂さんラマ僧を激勵

戰ふ女性に驚歎

一行龍谷高女を見學

廿二日入城した蒙古喇嘛僧見學團代表幽經義諸氏一行十名は廿三日午前十一時半朝鮮軍を訪問、倉茂報道部長と會見、副團長金田義雄氏が一同を代表して入城挨拶をなした、これに對し倉茂報道部長は左の通り大東亞共榮圏建設に勇往邁進するやう激勵した

いまやアジヤ民族が勃々として興つてゐる、これは日本軍のみの力ではなく恰も春になれば木の芽が出で花が咲くやうにアジヤの民族が勃興してゐるのである、蒙疆も亦大いに興つてゐる

と聞き皆んで……ては官民一……界の大動……してゐる、……亞建設に努力……

盟主日本に新體制確立の姿を學ぶため蒙古政府か

一發必中・我艦隊砲發す【日露役黃海々戰】

戰史に見る無敵海軍魂

砲身に必勝の護符

日頃の猛訓練實つた大勝

【日本海々戰】

本社寄託獻金

廿二日扱

國防獻金　陸軍

國防獻金　海軍

皇軍慰問金

九軍神顯彰金

【總計】金九十二萬三千八百三十圓四錢也

大相撲夏場所

安藝遂に敗る

幕内の全勝者なし

夏場所星取表

本年度普文試驗

故近藤特派員へ哀悼詩

赤誠の五萬圓　廣州郡民が獻金

十四日目勝負

京城版

今ぞ醜の御楯に
法科志望を一擲・陸士へ轉向
徴兵制度發布 巷に昂まる軍國熱

支那事變以來再三巨額の國防献金をして皇軍の勞苦を偲つてゐた街の篤志家が〝これだけでは銃後國民の義務を果したとはいへない〟とわが愛兒を志願兵或は陸軍士官學校に志願させ、有識階級への模範を示した銃後半島の麗しい佳話がある

台添町三ノ五一七金山成煥氏は同町會の副總代を勤め國家總力戰に献身的な活躍を續ける一方、支那事變が勃發してからは數次に亘り巨額の献金をして銃後奉公に邁進してゐるが昨十六年度の志願兵應募に當り龍山中學を卒業した長男勝雄君を率先志願させたところ不幸にも體格檢査で不合格となり燃える希望が空しくなつたので金山氏は〝誰でもいゝから軍人になつて御國に奉公させたい〟と好機を待つてゐたところ偶々去る九日徴兵制が發布され聖恩の洪大無邊さに痛く感激、現在京畿中學四年に在學中の三男勝雄君に

『お前は幸ひ健康だから士官學校に入學して將來軍人として御國のため御奉公して呉れ』

と勸めたところ法律學校を志望してゐた同君も喜んで父の勸告に隨つて早速陸軍士官學校への入學手續きを執つたが、同家を訪れると金山氏は感激しながら左の如く語つた

『昨年長男に志願兵の手續をさせたが惜しくも體格檢査の結果不合格になりました然し幸ひにも十九年度から半島にも徴兵制が實施されるとは夢にもなかつたのでと〔ママ〕隊長男の代りに勝雄を士官學校に入れ將來軍人として御奉公させようと思ひ勸めたところ本人も喜んで承諾したのです、ただ今後は立派な日本軍人として醜の御楯となり皇恩の萬一に報いることが出來れば無上の光榮と存じます』

また傍らに居合せた勝雄君は『強い軍人となつて皇國の爲に御奉公出來ることは日本男兒として最高の榮譽であり唯一の念願でもあります私は法律をやらうと思ひましたが、徴兵令の發布を機會に父の勸めもあり私自身も早く軍人になつて御奉公したい氣持が勃然と湧いてきましたので陸士への入學を志しましたがこのごろは毎晩米英軍を撃滅する夢ばかり見てをります』と健氣に語つた

忠明け献金

三坂通一二三五渡邊武郎氏は亡父武氏の忠明けに際し金二百圓を陸軍恤兵金に、金百圓を府會事業基金にと廿二日本社を通じて献金した

譽れの健康兒
城東隣保館の優良兒審査

隣保館が去る健民運動中に行つた健康兒審査は五百幼兒の參加を得て嚴格な審査を遂げた結果、廿二日次の通り譽れの健康兒十名が發表された

▲新堂町一四四金山泰昌（男三歳）▲上往十里町一七六（男三歳）▲龍頭町一四四梁山勝子（女三歳）▲新堂町一七七曹田貞子（女三歳）▲新堂町一四五松岡美子（女二歳）▲昌信町六一九三上文子（女二歳）▲上往十里町四三三長谷川順（男二歳）▲新堂町一三九山本國安（女二歳）▲新堂町一四五金山泰雄（男二歳）▲新堂町一三三朴谷裕（男一歳）

匿名の二兵士が献金

廿三日の午後第卅部隊の兵隊さんが二人連立つてひよつこり本社を訪れ『國防献金に……』と一金封を差出し名も告げずに立去つた、この金は内地から嬉しい便りがある毎にその喜びをあらはして僅かづつ積立貯金したもののことで隊員も痛く感激して早速手續きをとつた

これは賞金を

道林町獻城纖工所勤務山本茂暢氏は金二十圓を國防献金にと廿三日本社に寄託した

同氏はさきに總力聯盟文化部が募集した大東亞戰爭論文に見事二等に入選したがその賞金をそつくり献金したもの

豐田耕兒君『提琴演奏會』
―來る二十八日府民館で開催―

日活映畫〝愛の一家〟でお馴染の天才少年提琴家豐田耕兒君を招聘して初夏の銃後に贈る本社主催『提琴演奏會』は來る廿八日午後六時から府民館でピアノ渡邊止巳、テナー平間文壽、ソプラノ吳敬心三氏の特別出演もあり華々しく公演される

なほ二十八、九の兩日晝間は午後四時から特に學生團體の入場がある

徴兵制發布に感激の行事
參加總人員六十餘萬

半島同胞に對する劃期的恩典たる徴兵制の實施が一度發表されるや聖恩の宏大無邊なるに感泣する半島民衆の血は感謝感激に高鳴りこの感謝の現れは宣誓祈願奉告式となり講演會に座談會に祝賀會に或は感謝決議文となつて全鮮津々浦々に歡喜を爆發させてゐるが、去る九日徴兵制實施が發表されて以來廿日までの間に京城を中心として催された感激の行事を郷計すると

宣誓祈願（奉告）式四十二回參加人員十八萬四千六百六十七人▲講演會廿三回五萬七千六百人▲座談會十一回一萬一千六百廿五人▲感謝決議文十二回十八萬五千百十八人▲同電報十七萬二千八百五十一人

で總回數百二回、參加人員總數六十一萬二千二百六十一人の多數に上つてをり半島民衆の徴兵制實施に對する感謝と熱意の如何に熾烈であるかを物語つてゐる

龍山署管内特設防護團聯盟
結成式を擧行

防空精神の涵養並に當局との唯一の連絡機關として着々その結成準備を進めてゐた龍山署管内特設防護團聯盟結成式は去る廿日午後二時から同署道場で擧行、特設防護團幹部約五十名が出席、龍山署側からは川島署長、大村防護係主任ほか係官多數臨席、國民儀禮のち宣誓、規約披露の後左の役員を決定し同五時ごろ解散した

▲理事長京中商工特設防護團長▲理事朝鮮講鞘、朝鮮製網、朝鮮計器各特設防護團長▲幹事東亞工業特設防護團長

惡疫擊滅に擧れ
龍山署で腸チフスの豫防注射

龍山署衛生係では廿一日から管内の腸チフス豫防注射を實施してゐる

京電〝また〟も〝黑星〟
大切な乘馬を傷ける

學徒四千が鎬を削る大防防戰の展開された廿一日午後二時半頃、折から馬上に跨つて激戰地漢江河畔に降り立つべく馬首を操つて漢江堤防上中之島停留所附近を進軍中であつた高等商業學校三年生武藤哲雄君の乘馬目がけて突進した不注意な京電電車行電車二〇六號の運轉手南山重變（二一）があつといふ間もなく馬の後右足を車輪に嚙んで重傷を負はせ大切な乘馬一頭を空しくした事實は、最近同社運轉手等の目に餘る不熟練の結果として府民からその責任を問はれる理由となつたが、これに對して京電幹部も事件の經緯はともかくとして大切な軍馬にも等しい乘馬を失はせたことを深く痛み次の通り謝意を表明した

誠に申譯ない
武者京電社長談

私も馬事會の一員として折角の乘馬が電車のために損じたことは誠に遺憾であると共に、京電として申譯のないことであります、幸ひ乘つてゐた生徒に怪我のなかつ

内鮮一體は『國語』から（十一）
國語を知らぬは皇民として恥辱
嚴然と語る 石川龜鶴さん

四ツになつたばかりの幼兒までが國語を常用するといふ模範家庭〝國語の家〟桃花町四〇陸軍講道館勤務石川龜鶴氏（四二）宅を訪れると食糧の支度に餘念のないこの家の主婦永仁さん（三七）はエプロン姿のまゝ流石に流暢な言葉で『いらつしやいませ』と迎へてくれた、家族は京畿國民學校高等科一年の長女美姫ちゃん（一四）元町國民學校五年の次女仙姫ちゃん（一二）龍山國民學校三年の長男秀山君（一〇）同一年の次男秀雄君（八）三女春姫ちゃん（六）それから龍姫ちゃん（四ツ）の平和な八人暮しである、患者沿療の寸暇を割いて〝國語の家〟の部隊長石川氏は國語常用の動機を左の如く語つた

私は國民學校を終ずに中學校へ進んだ爲に『國語も解らぬ馬鹿者だ』と隨分先生から窘められました、かうした辛い經驗をしたので子供らが口をきく頃から全面的に私達夫婦は率先して國語を常用すると共に子供等にもそれを奬勵してきました、先づ書物を讀む爲の修錬を積ませることから始めました、子供達が言葉を覺えるのは實に早くて今では却つて子供達から正確な發音を敎へられてゐる始末です

と謙遜な同氏は日頃の愛兒たちへの惜みなき訓育振りを押し隱さうとするのだつた、そしてなほも言葉を繼けて

私は子供達が國民學校へ入學する前に必ず内地人側の幼稚園に入れて、この一年間は國語を徹底的に吹き込んでゐますが子供達も自然と言葉だけでなく日常の禮儀作法までも純然たる内地式になり、學校へ行つても同級生に模範を示してゐるらしいんですよ

あとは〝ハツ、ハツ、ハツ〟と豪快な笑ひに紛らしてしまつた【寫眞＝石川さんの一家】

龍山署へ寄託

廿三日龍山署保安係に寄託された國防献金▲金三圓を海軍へ、岩根町四八鄭雍模さん▲金二百圓陸海軍へ各百圓、阿峴町四四七ノ一六京城織物小賣行商組合神農鳳煥氏

お小遣ひを節約して

江南國民學校二年生長尾滿治君は米英宣戰の日を記念して爾來お母さんから貰つたお小遣を節約して國防献金を思ひ立ち今日まで貯め續けた金五圓十錢を本社永登浦支局に持參し献金取次方を依頼した

親鸞上人誕生祝
賀國防劍道大會

府内元町西本願寺では廿四日本院前庭で親鸞上人誕生祝賀國防劍道大會を開催するが、特に京城武德會劍道段士の高合も行はれるので一般の觀覽を希望してゐる

聖植ちゃんヤーイ

高陽郡知道面大莊里方辰結さんの長男聖植ちゃん（七）は國防色の學生服に運動靴姿で去る十九日黄金町三丁目から元町行の電車に乘車したまゝ行方不明となつたので所轄署に捜索方を願ひ出た

お心當りの方は櫻井町二ノ九三ん西原榮一さん宅へお知らせ下さい

會と催し

▲二十五日午前十一時から朝鮮中央基督教青年會大講堂で京城職業紹介所及び總督府斡旋内地日本鋼管移住工場勞務者壯行會を本府道、府ほか關係者が參列して擧行される

二年後目指し強い壯丁鍊成
水色驛員が皇民修練會結成

徴兵制發布が描く官民一致の感激

……京義線水色驛長江東氏は去る十九日の徴兵制發布に感激、われく鐵道職員と雖もこの有難き聖代に生を享けてゐる上は單に運輸上の職務のみで御奉公を全うしたと思ふやうでは誠に申譯ない、職務以外に田舍の半島青年を指導して二年後には一人殘らず立派な壯丁として入營させ御奉公させることが在鮮の内地人としての本分だと十九日から同驛助役、驛員を打つて一丸とする指導委員を結成同驛事務所内に『皇民修練會』を設け水色一圓の半島青年約二百名を集めて在郷軍人分會と連絡の下に多忙な職務の餘暇を活用して軍事教練から點呼等猛訓練をやらせてゐる

これに感激した住民達は廿四日所管西大門署高等係へ『江東驛長等の篤行を褒めて下さい』と申告して來たので、同係でも卑國日本の役割を果しつゝある、聖戰下半島の頼母しい實贊の姿として痛く感激してゐる

愛の赤道【102】
竹田敏彦（作）
鄕竹伸一（繪）

二つの影（五）

二郎は、市電で四谷見附へ出てそこから狹窪行の省線に乘つた。

そして、東中野で下車すると、東の出口から、暫く線路の上の高い道路に沿つて、城山町の方へ急いだ。

いつか訪ねたことのある克彦兄妹の留守宅を見舞ひに來たのである。

表通りから、記憶のあるポストの角を曲つて、細い裏通へ入つてゆくと、間もなく瑞木家の古い二階が見えた。

『ごめんください』

格子戸を開くと、

『はい……』

と奧から女の聲がして、克彦の妹が顏を出したが、二郎を見ると、

『あら、いらつしやいまし』

愛想よく迎へて、丁寧に手をついた。そして、

『どうぞ、お上りくださいまし……』

淑かな微笑をふくんだ顏を上げた。その深々と澄んだ大きな瞳や口元の動きや、顎の括りの愛くるしい線までが、二郎には、以前見た時より一そう佐智子に酷似して見え、熱く迫つてくるやうな懷しさをさへそゝられるのだつた。

『ちや、遠慮なく、失禮いたします』

二郎は、娘に導かれて、奧の座敷へ通された。あの時眼についた庭のコスモスは、もうすつかり枯れてしまつて、野菜畑の大根の葉が、目立つて大きく伸びてゐた。

『おや、暫くでございました』

間もなく、克彦達の父親瑞介老人が、枯木のやうな、細々した老軀を運んできた。

『御無沙汰ばかりいたしてゐます』

『いえ私共こそ。訪ねていただくばかりで……しかし、よくいらしつてくださいました』

『たうとう船便を失つて、また東京でぶらぶらしてゐます』

二郎は克彦や佐智子等に對する心の苛責を、そのまゝ老人の前へ懺悔するやうに表らした。

『なーに、こんな時こそは、ゆつくり御兩親のお傍にゐて、安心させてあげることですよ』

瑞介老人は心から言つたが、二郎には、さう言ふ相手の寂しさや不安が察せられて、却て東京にゐる自分が申譯なく

『しかし近頃の新聞など見てゐますと、かうして東京に留まつてゐるのがあちらの諸君に申譯なくて全く苦しさに堪へませんですよ』

二郎はかういつて、一つにはこの老いた父親が昨日の夕刊に出た佐達の土地の恐ろしい慘害を知つてゐるかどうか、ちらと試すやうに相手の顏色を覗いたが、老人はすぐ、

『新聞といへば、昨夜の夕刊を御覽になりましたでせう』

やはりこの父親も絶間なく遠くの子供達を氣遣つて、新聞やラジオの放送に心を傾けて暮してゐるのだ――二郎は涙ぐましい氣持で、

『實はそれで私も昨夜は興奮して眠れませんでした』

『何といふ非道い畜生共でございませう』

骨ばつた老人の頰も高潮し、凹んだ眼にさへ滲まして憤りの聲を震はせた。

『それで今朝、早速長男に命じまして、外務省へ問合せてみたのですが、まだ一向詳細はわからないさうですね』

『いや、私も陸軍省へまゐりまして、××局の副官に會つてきましたが、あれ以上は少しも判らないといふ返答でした』

ラジオ　廿四日

朝　六・三〇『衣替の時』牛塚虎太郎、朗讀（レコード）▲八・三〇勝利の記録（第二十三報）管絃樂組曲『春苑』『陽光を浴びて』ほか松竹管絃樂團▲一〇・〇〇週間錄音

晝　午後〇・三〇一筆曲『夏の曲』ほか米川親敏ほか2ピアノ獨奏『マスエット』ほか天地眞佐雄▲一・〇〇（横須賀海軍病院より中繼）1浪花節『南部義士』東武藏、2『南太平洋の戰鬪報道より還りて』梅野十三、3軍國歌謠『海の進軍』ほか 松原操、4歌謠指導『朝だ元氣で』内田榮一▲二・三〇（城）全鮮珠算競技大會實況、1朝鮮銀行より中繼▲三・三〇六大學野球試合實況▲大相撲夏場所實況千秋樂、兩國々技館より中繼（野球なき場合は四時より相撲中繼）▲五・五五（城）シンブン

夜　六・〇〇シンブン『諸葛孔明』遠藤嚴ほか▲六・三〇浪元『日本海々戰』浪元壽國太夫ほか▲七・三〇週間戰局▲八・〇〇（城）合唱一、『軍艦行進曲』ほか京城放送混聲合唱團▲八・一五（城）浪花節（鮮語）『東郷元帥』崔八根▲九・〇〇海の組曲波岡惣一郎ほか▲一〇・〇〇（録音）『南方戰線を視察して』駐日ドイツ大使館武官、空軍大佐ヴォルフガング・フォン・グロナウ